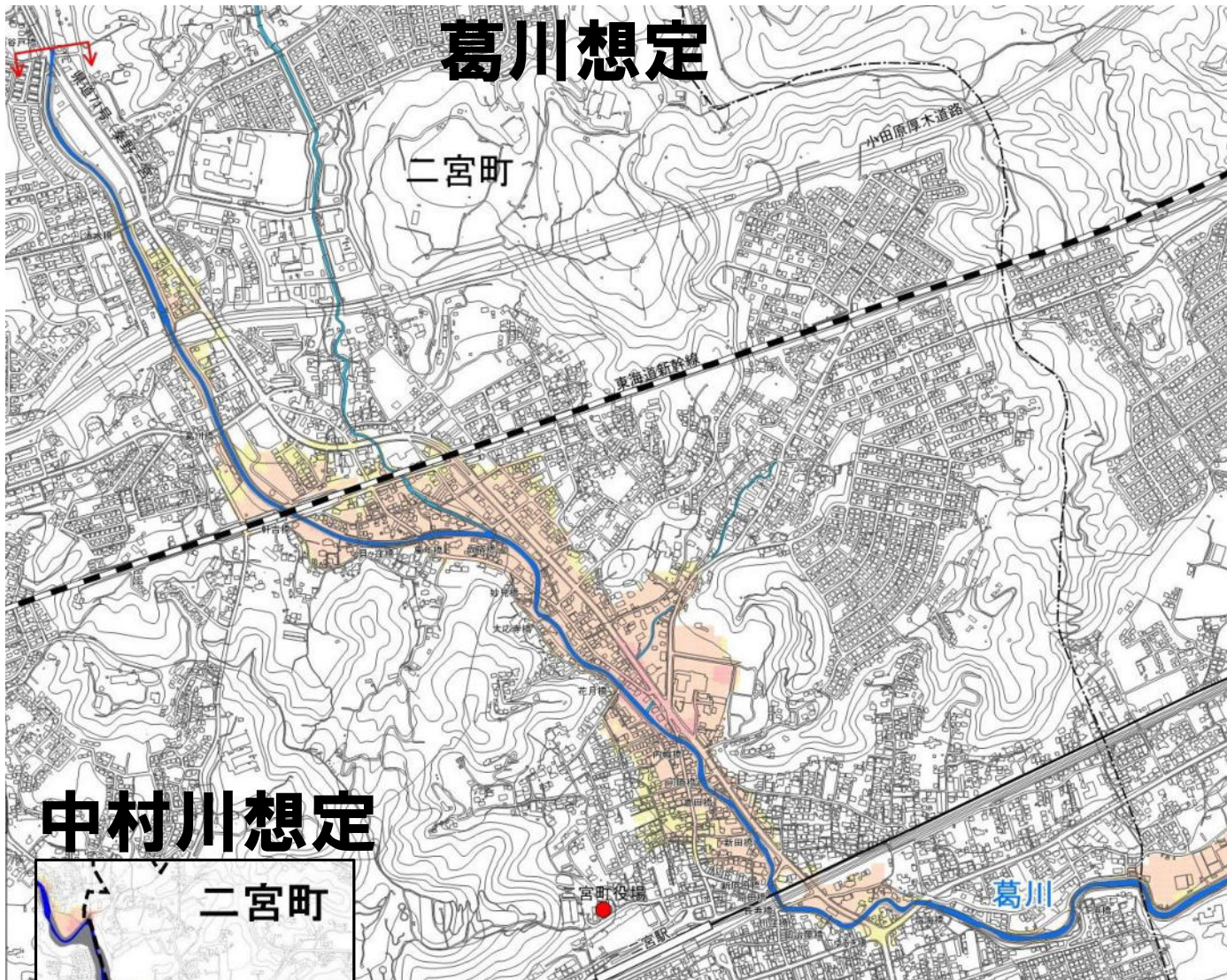


二宮町洪水浸水想定区域図(想定最大規模)





葛川想定

中村川想定



早期の避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

区域等	避難行動	補足事項
家屋が水没するおそれがある 	2階も浸水するおそれがあることから、早期避難が必要。	氾濫がすでに始まっている場合など、避難所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所への避難が必要。さらに、外出することすら危険な場合には、屋内安全確保が必要。
その他の浸水想定区域 	床上浸水または床下浸水が想定されることから、避難が望ましいが、浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により、屋内安全確保も考慮。	最上階が浸水しない場合は、屋内安全確保でもよい。 1階建ての建物等においては、早期の避難が必要。
浸水想定区域外	テレビやラジオ等から最新の情報収集が必要。	想定以外の要因により被害が発生するおそれがあるため、周囲の状況を各々確認すること。

(想定最大規模とは！)

◆「想定最大規模降雨」とは「想定しうる最大規模の降雨」のことで、発生頻度としては、約1,000年に1回程度を想定しており、河川施設整備の水準とする計画規模（大河川で約200年に1回程度）を大きく上回る自然現象を対象としています。

【指定の前提となる降雨：葛川、中村川（葛川⇒想定し得る最大規模：336mm/24時間 152mm/1時間）】

(1)この図は、神奈川県が作成した洪水浸水想定区域図（令和元年12月告示）に基づくもので、**1,000年に1回程度**起こる大雨を想定し、河川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションしたものです。

(2)シミュレーションにあたっては、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域において浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。